

- 團寛子, 上間あおい, 中島和江他(2011). 看護師のインシデント・レポートへの情報提供に影響を与える要因の分析. 日本看護学会論文集, 看護管理, (41), 209-212.
- 藤原千恵美, 門脇恵子, 渡部明子他(2008). 精神科病院における看護師のヒヤリ・ハット報告に対する現状と課題. 日本精神看護学会誌, 51(2), 398-400.
- Gordon S(2013). アメリカ医療・看護 最新情報. 看護, 65(7), 104-105. 早野 ZITO 真佐子訳.
- 平岡千春, 横山登喜代, 三好淳子他(2006). 看護師がヒヤリ・ハットを経験したときの意識. 日本看護学会論文集, 看護管理, (36), 462-464.
- 本田覚(2012). インシデント・アクシデントの重要性. 日本内科学会雑誌, 101(12), 3368-3378.
- 掘込由紀(2011). 医療安全からみた ICT 活用の効果と課題. 上武大学看護学部紀要, 7(1), 1-18.
- 福田治久(2012). 医療安全対策の有効性評価に関わる課題: インシデント報告システム活性化対策を例にして. 医療の質・安全学会誌, 7(1), 37-47.
- 石田慎二, 伊藤幸子, 神部智司(2008). 民間営利組織と民間非営利組織の訪問介護に関する比較. 名古屋学芸大学ヒューマンケア学部紀要, (2), 1-7.
- 伊藤由美, 加藤ハルミ, 青陽光(2011). インシデント・レポート「0レベル」の定着と活用. ナースマネージャー, 12(10), 74-78.
- Joint Commission International ホームページ(2013 年 11 月 31 日アクセス).
- 兼児敏浩(2006). 医療安全管理を巡る諸問題について—インシデント・アクシデントレポートを中心に. 医療と社会, 16(1), 55-70.
- 児玉信夫(2002). リハビリテーション部門におけるリスクマネジメントについて. 新潟県立中央病院医誌, 10(1), 15-18.
- Kohn L T, Corrigan J M, Donaldson MS, Eds (1999). To Err is Human- Building a Safer Health System. Committee on Quality of Health Care in America. Institute of Medicine. National Academy Press.
- 国立大学付属病院長会議常置委員会医療安全管理体制担当校(2012). 国立大学附属病院における医療上の事故等の公表に関する指針(改訂版).
www.ims.n-tokyo.ac.jp/dctsm/download/safe/official_standart.pdf
- 公益財団法人日本医療機能評価機構ホームページ(2013 年 11 月 15 日アクセス)
- 厚生労働省(2007). 「医療安全管理者の業務指針」における「安全文化の醸成」. 医療安全管理

者の業務指針および養成のための研修プログラム作成指針, 8.

厚生労働省ホームページ(2013 年 11 月 15 日アクセス).

松田由紀, 森脇真由美, 曾田美佐子(2011). リスク感性の向上に寄与する行動特性とリスク感性育成のプロセス. 日本看護学会論文集, 看護管理, (41), 201-204.

森脇早希子, 志賀友紀, 難波由美子他(2007). インシデント・アクシデントレポートに関する手術室看護師の意識調査. 日本手術医学会誌, 28(3), 220-222.

Reason J(2000). Human error: models and management. BMJ(320). 768-70.

齋藤美香, 菅野みつえ, 阿部久美子(2007). 事故防止に対する意識調査. 寿泉堂病院年報, (13), 61-64.

迫田裕子, 兵藤好美, 田中共子(2011). ヒヤリハットに関する研究の動向－看護師を対象とした研究を中心に. 岡山大学大学院社会文化科学研究科紀要, (32), 14-24.

柴田和恵(2004). インシデント(ヒヤリ・ハット体験)に関する認識調査. 日本看護学会論文集, 看護管理, (34), 68-70.

嶋森好子(2000). 看護業務から見た医療事故の防止対策. 日本医学雑誌, 124, 878-882.

滝井京子, 四宮まゆみ, 藪下知歌子他(2010). 外来部門のヒヤリ・ハット報告書が少ない要因の実態調査. 高松市民病院雑誌, 25, 48-51.

遠山信幸, 亀森康子, 桑原菜穂子(2013). インシデント・アクシデント報告の推進とその活用. 医療安全文化(報告する文化)の醸成のために. 看護展望, 38(8), 22-29.

上里周作, 吉岡美智子(2012). インシデント・レポートへの意識改善に向けて. 沖縄県看護研究学会集録, 2, 45-48.

梅田珠実(2012). 医療安全・質改善の文化醸成－国立病院機構の取り組みから. 日本内科学会雑誌, 101(12), 3470-3476.

脇本美香, 道廣睦子(2012). インシデント・レポートに対する看護師の認識とその影響. 日本看護学会文集, 看護管理, (42), 223-226.

山岸まなほ, 秋本万里子, 伊藤勝陽他(2007). 病院職員の医療安全に対する意識と行動. 病院管理, 44(1), 7-17.

山口俊憲(2011). ヒヤリ・ハット活用事例に関する意識調査に基づく安全管理サイクルの効果的な運用方法の提案. 医療の質・安全学会誌, 9(4), 475-478.

矢野加奈子, 神田拓, 向笠英恵他(2011). 歯科衛生士における医療安全に関する意識. 広島大学歯科雑誌, 43(1), 39-44.

読売新聞(2012). 医療安全「報告文化」が要－多忙な医師への浸透が課題. 病院の実力 120.